まちの話題

新年の始まり 気を引き締め出初式

1月4日、松前消防団の出初式が行われ、制服に身を包んだ消防団員と消防車両が松前公園から町民体育館まで街頭行進しました。

また、その後行われた式典で、次の方々が表彰されました。

※敬称略

（　）内は所属分団名

北海道知事表彰

30年勤続章

吉田　康洋（副団長）
佐藤　幸吉（小島）

20年勤続章

小野寺初美（さくら）
室田　孝平（小島）
斉藤　俊丈（大島）

10年勤続章

高山　清勝（小島）

管理者表彰

賞詞

佐藤　真人（小島）

賞誉

坂本　正樹（大沢）
菊池　圭介（松前）
佐藤まゆみ（さくら）

北海道消防協会長表彰

30年勤続章

吉田　康洋（副団長）
佐々木好文（大島）

10年勤続章

石川　聡（大沢）
熊谷　隆一（大島）
川合　良広（小島）

渡島地方支部長表彰

功労表彰

伊藤　勝利（大沢）
小野寺しのぶ（さくら）

書の町松前 児童生徒書初め席書大会

1月11日、町民体育館で、「第15回金子鷗亭記念松前町児童生徒書初め席書大会」が開催され、町内の小学生から高校生まで、115名が参加しました。

この大会は、松前が生んだ書家、金子鷗亭先生の業績をたたえ、多くの人に書に親しんでもらおうと、文化の香り漂う書のまちづくり推進協議会（会長・市田恵之）の主催で開催しているものです。

参加者は、手本を見ながら一画ずつ丁寧に筆を運んでいました。

なお、入賞者は広報3月号でお知らせします。

新年を華やかに 小正月女のまつり

1月13日、パートナーシップランドいさりびで、「第15回小正月女のまつり」が開催され、約250人の町民が来場しました。

これは、お正月の準備などで忙しかった女性に感謝とねぎらいの意味を込めて小正月の風習にちなみ、小正月女のまつり実行委員会（実行委員長・大西仁）の主催で開催されているものです。

カラオケ大会の様子

まつりは、石山町長と年女の方々による鏡開きで開会し、来場された皆さんに御神酒が振るまわれました。

会場には、血圧測定や西村薬局のご協力による血糖値測定などのコーナーが設けられ、するめちゃん体操で体をほぐしたあとは、カラオケ大会が行われました。

その後の歌謡ショーでは、木古内町在住の中村時子さんと乙部町出身で、第41回江差追分全国大会優勝者の寺島絵里佳さんによる演歌や民謡、江差追分などが披露され、会場は大きな拍手に包まれました。

中村さん

歌謡ショーの最後には、中村さんと寺島さんの歌に合わせて、来場者が輪を作って踊りました。

まつりの終盤には、たくさんの景品が用意されたビンゴ大会が会場を盛り上げ、来場された皆さんは、最後までまつりを満喫していました。

寺島さん

春から中学生！ 中学生活を体験

1月22日、松前中学校で、町内の小学6年生とその保護者を対象とした「新入生説明会」が開かれ、35名の児童が参加しました。

子どもたちは、校舎内を見学したあと、中学生が実際に授業を受けている様子も見学しました。

校舎内見学が終わったあとは、中学校での学習や学校生活についての説明を聞き、その後、部活動の見学を行いました。

子どもたちは、道南スギを利用して建築された校舎や小学校とは違った授業の様子に、少し緊張しながらも興味津々な様子でした。

参加した児童は「小学校には無いものをたくさん見ることができて楽しかった。中学校に入学するのが楽しみ」と話していました。

俳句大会でたくさんの作品が入賞しました

このたび、岬はいくポスト（代表・川内谷弘美）が応募した俳句が、次のとおり俳句大会で入賞しました。

「ふるさと情報カレンダー」の全国俳句大会

最優秀賞

三浦　優花（小島小5年）

雨上がり
しあわせ色の虹が出る

優秀賞

吉田　海奈（小島小5年）

お静かに
聞こえませんよ風鈴が

三浦優花さん（中央左）と吉田海奈さん

入選

五十嵐亮太（小島小6年）

ザアザアと
波がきれいね夏の海

酒井　優菜（小島小6年）

銀色にかがやく光
雪のつぶ

堀川　紗穂（小島小6年）

見上げれば
ダイヤみたいな雪がふる

増田早恵希（小島小6年）

せんぷうき
みんな集まり宇宙人

佐藤　耀（小島小5年）

夏の雨
キラキラ光るダイヤだよ

佐野　琉心（小島小5年）

夏の海
きらきら光るほう石だ

東舘　秀斗（小島小5年）

暑い日は
海に行って飛込みだ

成田愛璃美（小島小5年）

そよ風にたんぽぽがゆれ
歌っている

酒井　莉音（小島小4年）

楽しみだ
海で泳ごう夏休み

中山　煌翔（小島小4年）

ある時に
海水浴をしにきたよ

堀川　凌央（小島小4年）

夏の海
小島が見えてこんぶ干す

藤岡　望来（小島小4年）

てんと虫はねをひろげて
とんでゆく

青山　唯夏（小島小3年）

やきいもを
いっぱいたべておならでる

竹内　優心（小島小3年）

友だちとプールで泳ぐ
夏休み

堀川　真歩（小島小3年）

赤とんぼ
夕日の空をとんでいる

平成30年度一茶まつり全国小中学生俳句大会

入選

酒井　優菜（小島小6年）

砂浜に
足あと残す夏の朝

酒井優菜さん

口と骨の健康について知識を深める

1月11日、町民総合センターで「お口と骨の健康セミナー」が開催され、60名の町民が出席しました。

これは、北海道骨粗鬆症研究会の主催で開催されたもので、セミナーでは北海道医療大学歯学部教授の村田勝氏とKKR札幌医療センター整形外科部長の重信恵一氏が、それぞれ口と骨に関する講話を行いました。

出席された皆さんは、口腔内を保湿することの大切さや骨粗しょう症予防について熱心に学んでいました。

準備着々ウィンターフェスティバル

2月16日に神明グラウンドで開催される「第1回松前ウィンターフェスティバル」に向けて、松前商工会青年部（部長・佐藤光）主導のもと、ジャンボ滑り台などの製作が進んでいます。

今年は、雪合戦や雪上宝探しのほかに「親子馬場レース」など、楽しいイベントが盛りだくさんです。

ご家族や友達とご一緒に冬を楽しみましょう。

緊張の一瞬 百人一首カルタ大会

1月12日、パートナーシップランドで江良地区青少年育成健全推進協議会（会長・堺繁光）主催の大島地区百人一首カルタ大会が開催され、大島小の児童12名（4チーム）が参加しました。

また、1月19日、町民体育館で松前町下の句百人一首カルタ大会が開催され、小中学生から一般まで28名（9チーム）が参加しました。

子どもたちは、読み手の声に耳を傾け、句が読まれると素早く札を取っていました。

優勝したチームの子どもたちは、「また大会に出て優勝したい」と笑顔を見せていました。

大島地区百人一首カルタ大会

優勝　チーム　ライオン
（高橋陸斗、佐々木暉人、東舘望愛）

2位　チーム　みそ
（佐々木千夏、本間絵梨、高橋悠馬）

3位　チーム　ねこ
（寶福春菜、藤村璃夢、菅野大翔）

松前町下の句百人一首カルタ大会

交友の部（小学1～3年）
優勝　松城小2年チーム
（小川爽椰、小野寺理子、澤田雛乃）

交友の部（小学4～6年）
優勝　松城小5～6年チーム
（藤井咲那、小野寺省吾、藤井悠那）

玄人の部（中学生・一般）
優勝　松前中2年チーム
（高橋叶和、熊谷明衣、渡邉凛音）

百人一首カルタとは

本来、百人一首は100人の歌人の和歌を、一人一首ずつ集めた歌集を指しますが、現在は、お正月に遊ばれるカルタとしての知名度が高く、百人一首のカルタは「歌ガルタ」とも呼ばれます。

百人一首カルタは、読み手が和歌の上の句を読み、それに対応する下の句の札を取ります。取り札は、下の句がかな書きで書かれた紙製のものを使います。

北海道で一般的に行われているものは、「下の句カルタ」と呼ばれ、上の句は読まれず、下の句だけが読まれます。取り札は木製で、崩した字で下の句が書かれたものを使います。

下の句カルタの取り札

「広報まつまえ」へご意見・ご感想をお寄せください

より良い広報誌づくりのため、町民の皆さまの「広報まつまえ」に対するご意見・ご感想をお聞かせください。

ご意見・ご感想は文書や電子メールなどでお寄せください。

問 政策財政課　☎42−2275
電子メール　kouhou@town.matsumae.hokkaido.jp